

平成28年度 芸術科書道課程 修学旅行（福山・倉敷・直島・広島・萩）

○山陽各地で観賞や制作体験を実施。美術と書道で一部の研修先や内容が異なります。

【1日目】



天気は快晴，絶好の出発日和となった。日頃は同じクラスだが，両課程そろっての学外行事は少なかったため，ワクワク感も倍増。新幹線の車中は終始和やかで，12時に倉敷着。ここから美術課程と書道課程は研修先を別に。書道課程は，同じ電車で福山書道美術館へ。福山書道美術館では館蔵品に加え，特別展で江戸～明治期までの日本の名筆を鑑賞した。鑑賞後は倉敷へ戻り美観地区を散策，倉敷の名所ホテル「アイビースクエア」にチェックイン！

【2日目】



岡山市のホテルを後にし，バスは宇野港へと向かう。本日はクラス全員でアートの島「直島」の自由研修日。今年は3年に一度の瀬戸内国際芸術祭の開催年で，すでに港には海外からのお客様が多数。穏やかな瀬戸内海をクルーズし，ほどなく直島へ到着。この後は，自転車に乗って班別自由研修。大人気の地中美術館鑑賞後は，島内を気ままに移動した。美しい自然と，ここでしか見ることができない作品の数々に感動！の1日であった。

【3日目】



旅の日々に体も慣れ！？毎朝の集合もスムーズ。本日の行き先は，カープがリーグ優勝し街は赤一色の広島。本日は，美術課程と書道課程で別研修の1日である。書道課程は筆の生産量全国一位の広島県熊野を訪問し，筆作りの工程の見学や体験，一部店舗では買った筆に名前を刻入してもらうことが出来，生徒も大喜びだった。日も暮れた頃，原爆ドームへ到着。平和への願いを込めて，友人たちと作った折り鶴を「原爆の子の像」へ納める。その後は美術課程と合流し，お好み焼で大夕食会！

【4日目】



4日目の朝も晴天。最終研修地、山口県へと向かう。秋晴れの中、秋吉台・秋芳洞を見学。雄大な自然の造形に驚き、感動。昼食後、秋芳洞を後にし、萩の街へ。倉敷とはまた異なる美しい日本の街並みを、自転車で研修。松下村塾や高杉晋作生家など、歴史的風物がそこかしこに。県立萩美術館の陶器や浮世絵のコレクションも見事。観賞&研修の充実した1日であった。

【5日目】



いよいよ修学旅行も最終日。小高い丘の上にあるホテルからは、萩の街が一望できる。まずは、日本を代表する陶芸「萩焼」の工房を訪問、作陶を体験する。後日、完成作品が送られてくるのが楽しみである。次に向かったのは江戸時代から続く硯の産地、赤間硯の里。山あいの静かな山村に工房はあり、日本の伝統工芸に認定されている美しい硯の制作工程を、直接見学させていただいた。

そして新山口駅へと向かい帰途へ。全員元気で浜松の地へ戻り、大変充実した芸術三昧の日々を終えたのであった。